

「日仏中韓都市・文化対話 2015」新潟宣言

「日仏都市・文化対話」は、日仏交流 150 周年を契機に、2007 年から、日仏の創造都市を標榜する自治体などが参加して、各都市の施策や民間での取り組みなどを相互に紹介し、創造都市の発展に向けた取り組みにつなげてきました。

また、2013 年に開催された会議では、各都市の施策の紹介にとどまらず、都市課題解決に向けた知見・経験の共有を図る場にするとともに、今後についても対面して対話を行うこと、複数都市間で協働すること、そして対話を継続していくことの重要性を確認しました。

このたび「東アジア文化都市」の取り組みを機会に、中・韓両国の都市を交えて新潟市で開催した「日仏中韓都市・文化対話 2015」は、総合テーマを「持続可能な街づくりにおける文化の存在」とし、小テーマ「文化と食」「文化と産業」「文化と福祉」の 3 つを設けて互いの都市政策について未来志向で解決するための新たな交流や見識と画期的な対策の共有の機会となりました。

発表と議論を通じて、以下の諸点について、その重要性を参加者一同で確認し、文化と創造産業の連環したまちづくりを通じ、市民の生活の質を高めるとともに、創造都市の連携を活用しながら創造的文化産業の振興に向けて取り組むことを宣言します。

- 1 市民、事業者、行政などが一体となり、都市固有の文化芸術を活かした創造都市づくりを推進し、創造都市間のネットワークの発展に努める。
- 2 欧州文化首都や東アジア文化都市など、他の枠組みとの協力・連携を含め、文化芸術による都市間交流に努める。
- 3 創造的文化産業に関わる人材育成に努めるとともに、各都市が有する多様な文化芸術の融合により、創造的文化産業の活性化を図る。

2015年10月23日

「日仏中韓都市・文化対話 2015」参加都市